



2024年11月20日発行

NPO法人はみんぐ総合ニュースレター

〒396-0025

長野県伊那市荒井3500-1

はみんぐHP↓

伊那市生涯学習センター5F

Tel/fax:0265-76-7627

E-mail: info@kksc.org



すべての子ども・若者が自分の人生を生きられるために



【2024年度 事業内容】

■小中学校 児童生徒支援

相談・コーディネート

子どもの居場所「オルタ」(小・中学生の学校外の居場所)

はみ×スポ (原則 伊那市民体育館)

森カフェ 駒ヶ根

親子の居場所「みなみ～ね」駒ヶ根

親の会(伊那市・駒ヶ根市・中川村)

学習支援

■さくら国際高校 伊那キャンパス(通信制高校)

■若者の居場所「おるらの家」(15才～の居場所)

目次

| | |
|----------------------------|---|
| 信州型フリースクール認証制度 | 1 |
| 子どもたちの様子から 心のエネルギー曲線 | 2 |
| コミュニケーションシート 1. 2 | 3 |
| コミュニケーションシート 3. 4 | 4 |
| 小中支援 オルタ・はみ×スポ 森カフェ その他 | 5 |
| 広域通信制 さくら国際高校 伊那キャンパス | 6 |
| 若者の居場所「おるら」 | 7 |
| インフォメーション | 8 |

R6年度よりスタート！ 信州型フリースクール認証制度

令和6年度から、信州型フリースクール認証制度が始まりました。こどもの居場所、フリースペース、フリースクールの総称として「フリースクール等」という名称が使われています。これらの民間施設は、増加する不登校児童生徒等に対する多様な学びの場(学びの選択肢)の確保のために重要な役割を果たしていますが、その運営基盤が脆弱なこと等の課題を抱えています。

はみんぐでも、2004年から不登校の児童生徒の居場所を開いてきました。義務教育の義務は、国や自治体の義務であり、小・中・高の授業料は無償となっています。塾の成り立ちとは根本的に違う学校に代わる「場」を運営するにあたっては、利用料の保護者負担はしたくないという思いで、様々な助成金や補助金で運営してきました。しかしそのために運営が安定せず大変でした。フリースクール認証制度により、これからは、県や自治体と協働して運営をしていくことができるようになり、人的にも資金的にも充実させることができ大変心強く感じています。まだまだスタートしたばかりで課題が多い認証制度なので、官民でより良い制度に創り上げていきたいと思えます。

「子どもの権利条約」や「子ども基本法」「教育機会確保法」など、法整備が進んできたとはいえ、子どもたちの生きづらさはますます深刻化しています。まず大人たちが子どもを取りまく状況を学び合い、法律を具現化させた家庭、学校、地域を創っていききたいと思えます。



子ども達の様子から

NPO法人子ども・若者サポートはみんぐ 相談員 久保村 美香

学校に行くことができなくても、今はまだ人や社会と繋がるのが苦手でも、少しずつ進んだり、立ち止まったり、またはちょっと後ろに戻ったりしながらも、着実に前に進もうとしている子ども達。これまで蓄えてきたエネルギーを、それぞれのペースで放出しながら、日々を過ごしている様子が見られます。私達スタッフは、それを根気よく見守り続ける。そして、その子に合ったタイミングで、必要な時が来たら少しだけ背中を押す。そのタイミングや背中への押し方の微調整がなかなか難しく、うまくいく時といかない時がありますが、しかし、うまくいった時の子どもの進化、変化には目を見張るものがあります。人との関わりが苦手な、学校に行き渋っていた子ども達が、人との関わりによって見違えるように成長していく。こういった姿を間近で見られることは、私達大人にとっても、とても貴重な経験です。

このような進化、変化の中で、これまで温存していたエネルギーが、一気に噴き出すこともあれば、徐々に染み渡るように広がっていく場合もあります。そして、その先も運よくそのまま進んでいく場合もあれば、また後ろに戻る場合など、人により様々なパターンがありますが、どのような経験も長い人生において「自分にとって必要なものなんだ」と捉えることができれば、今抱えている生きづらさも少しだけ軽減できるのかな、と感じます。

人との関わりや体験活動などを通して、生きていく力を蓄えていく、そしてそれを上手く放出できるタイミングを自分でも見極めて、コントロールできるようになる。子ども達のこのような姿から、私達も生きていく力を貰いつつ、こういったサポートを継続的に繋げていけるように、今後も活動していきたいと考えています。

不登校の理解と対応

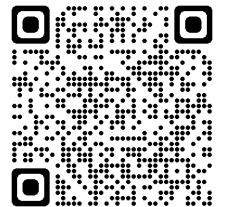
ガイドブック

＝保護者編＝

第2版

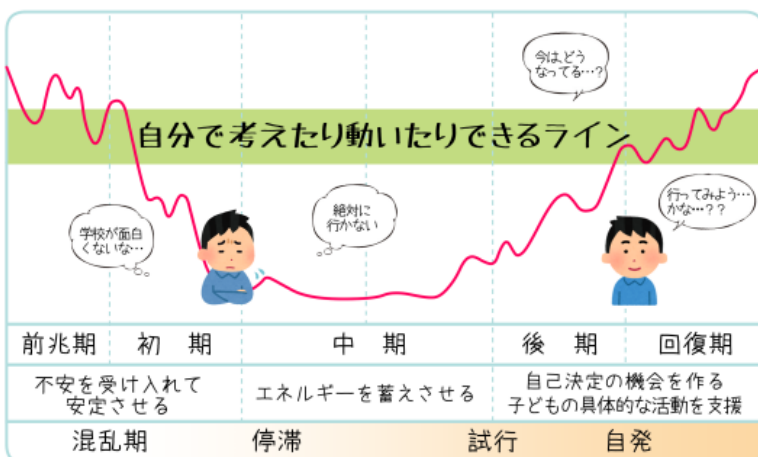
この冊子は、奈良教育大学の次世代教員養成センターの生田周二先生を中心に作成されました。

ガイドブックは、ダウンロードできますので、参考にしてください。



心のエネルギー曲線

心のエネルギー曲線は、佐賀県教育センター(2005)によって提唱されているものです。明確な定義などについては言及されていませんが、このハンドブックでは、心のエネルギーとは、しんどさや生きづらさについて周りから理解を得ることによって得られる精神的な安定や自尊感情の高まりと捉えることができるのではないかと考えています。



(図は、佐賀県教育センター(2005)を参照に改変)

「コミュニケーションシート」をご存じですか？

長野県教育委員会心の支援課ホームページに「子ども・保護者と学校・市町村を結びきっかけづくりのためのコミュニケーションシート」が公開されました。

このシートは、「NPO法人多様な学びプロジェクト」が保護者630人余のアンケートによって作成した「学校依頼文フォーマット」をもとに長野県教育委員会、教育関係者、居場所運営者、フリースクール運営者の方々が協力して作成されました。 ※次ページ参照

当事者の声が反映されているので、教師・保護者双方にとって有効活用ができるものになっています。

多様な学びプロジェクト ⇒



長野県教委心の支援課 ⇒



子ども・保護者と学校・市町村を結ぶきっかけづくりのための コミュニケーションシート

学校とのやりとりの中で必要な項目について、希望される□にチェックを入れてください。すべての項目は複数選択が可能です。また、コミュニケーションシートは、必要に応じて何度でも活用してください。

01 連絡の方法について：保護者から学校への出欠席の連絡方法

- (1) 学校への連絡方法
- 学校からの情報配信アプリ
 - 電話
 - メール
 - その他 ()
- (2) 学校への連絡の頻度
- (出欠に関わらず) 毎日
 - 欠席する場合だけ
 - 登校する場合だけ
 - その他 ()

02 連絡の方法について：学校から保護者への連絡方法

- (1) 連絡の頻度
- 毎日 電話 / メール / 情報配信アプリ
 - 週に1回程度の 電話 / メール / 情報配信アプリ
 - 月1回程度の 電話 / メール / 情報配信アプリ
 - どうしても必要などきだけ 電話 / メール / 情報配信アプリ
 - その他 ()
- (2) 誰から
- 担任の先生
 - 担任以外の先生 ()
 - スクールカウンセラー
 - スクールソーシャルワーカー
 - 居場所・フリースクールを通して (施設名:)
 - その他 ()
- (3) 子ども本人への連絡
- 連絡を控える
 - 本人が希望する場合だけ
 - 事前に保護者に相談
 - その他 ()

子ども・保護者と学校・市町村を結ぶきっかけづくりのための コミュニケーションシート

子どもが学校へ行かなくなったり、在籍する学校とやりとりをすする上で「どんなことを相談したらいいのか」「どんなことをお願いできるのか」といった不安の声や「欠席の連絡を毎日学校にしないといけないのが苦しい」「給食費や教材費などの徴収を止めてもらうようお願いできない」といったお困りの声が、保護者から聞かれることがあります。

一方、学校からも「教育支援センターやフリースクールなど外部機関を紹介することにより、子どもや保護者が学校から見放されたと感じてしまいうのではないか」といった声があり、保護者と学校関係者とのコミュニケーションの難しさが指摘されています。本シートは、これまで保護者が学校に対して電話連絡や支援会議などでお伝えたいだいたいのことで、学校との情報共有が必要となる場合・場面がある項目を整理し、子どもの育ちや学びにとって、よりよい方向性を確認していくきっかけとなることを目的として作成しました。

本シートを学校・市町村とコミュニケーションをとる対話の場面で活用していただくことを期待しています。

不登校児童生徒等の学びの継続支援に関する懇談会

03 配付物について

- (1) 学校からの配付物
- 配付物の全て（お便り、各教科の授業プリント、各教科の課題など）
 - 必要ない
 - その他（ ）
- (2) 配付の頻度
- 毎日
 - 週1回
 - 月1回
 - その他（ ）
- (3) 配付場所・方法
- 学校
 - 自宅（郵送・対面）
 - 兄弟姉妹・友人（ 年 組 ）に預ける
 - 居場所・フリースクールに預ける（施設名： ）
 - その他（ ）

04 給食について

- 提供を続ける
- 提供を止める
- その他（例：登校時の提供については別途相談する）

05 学年費などお金について

- (1) 学年（学級）費
- 毎月支払う
 - 支払いを止める
 - その他（ ）
- (2) 旅行貯金（業者積み立てを含む）
- 毎月支払う
 - 支払いを止める
 - その他（ ）
- (3) 教材（教材費）
- 全て購入
 - 必要な教材のみ購入
 - 購入しない
 - その他（ ）

06 その他

- (1) 学校から提供してほしい情報
- 本人、又は保護者が相談し、思いを伝えられる場所・人の情報
 - 学校外での学びの場の情報（教育支援センター、相談室、居場所・フリースクール）
 - 不登校の親の会の情報
 - その他（ ）
- (2) 健康診断や行事などで、学校に行った時に配慮してほしいこと
- 他の児童・生徒との交流・接触（競い合い・協力・孤独・騒がしさ）
 - その他（ある場合、具体的な内容）

07 学校外の学びの扱いについて

- 居場所・フリースクールの利用日を出席扱いにすることを希望
- ICT教材などによる自宅学習を出席扱いにすることを希望
- 学校外の居場所・フリースクールや自宅での学習を通知表に反映させたいことを希望
- 上記のいずれも不要
- その他（ ）

08 子どもと保護者の思い

(1) 子ども

(2) 保護者

その他ご相談したいこと（地域活動、PTA活動など）

小・中学校長 様

記入者氏名

年 月 日

小中支援 学校外の子どもの居場所他 相談窓口 0265-76-7627

親御さん、学校の先生は、子どもたちが行きしづりや行けなくなる状況になって初めてその子どもの心の異変に気がつきますが、その時は、もはや大きなストレスで押しつぶされそうになっている危機的状況であり、無理をさせず、まずは、本人がホッと安心できる環境の中でしっかり休息をとることが大切です。少しエネルギーができたところで、自分に合った場で自分のペースでゆっくりとやりたいことから始めていってほしいと思っています。

相談・コーディネート

電話または、メールでお問合せください。
月～金(祝日は除く) 9:00～17:00
面談は、日程調整をして実施します。
支援コーディネーターと一緒に考えます。

スポーツの居場所「はみ×スポ」

毎週(水)
場所:伊那市民体育館
のびのびとからだを動かしましょう。



伊那市 居場所「オルタ」

毎週(月)(金)10:00～15:00
場所:伊那市allla(アルラ)1F
ホッとして安らげる空間の中で自分らしく過ごします。時々、いろんな体験活動もあるので、チャレンジしてみてもいいと思います。



「小・中学習支援」

本人の希望があれば、平日、個別で50分間、(原則週1回)、有料で実施します。

駒ヶ根市 「森カフェ」

(駒ヶ根市地域子どもの未来応援事業)
開催日:月2～3回木曜日12時～16時
場所:駒ヶ根キャンプセンター(年24回)
●不登校状態にある児童生徒及び学校以外の居場所を求める児童生徒が、森林環境や自然の中でたき火を囲み心地よい時間を過ごしたり、川遊び、行き物探し、サイクリングなど自由な自然体験ができリラックスして過ごせる場所です。保護者の方もカフェのようにリラックスできます。

学校に行きにくい子と歩む「親の会」

ひとりで悩まないで、まずは、親が安心安全な自分の居場所を持ちましょう。

親の会通信「よりそい」発行

年2回、親の会のメンバーで発行しています。

みなみい～ね(駒ヶ根の居場所)

開催日:毎週水曜日9時～12時
場所:みなみ子ども交流センター(南小敷地内)
駒ヶ根市不登校・登校しづり・登園しづりの会(てんとうむしの会)が運営している居場所です。はみんぐもスタッフとしてお手伝いしています。





学校法人 上田煌桜学園

さくら国際高等学校

伊那キャンパス

令和6年度のさくら国際高校伊那キャンパスは、4/8(月)に入学式を行い、新たに18名の新生を迎えスタートしました。

4/25(木)には、対面式歓迎会が行われ、生徒会メンバーが企画したジェスチャーゲーム等を行い、新生と在校生との交流を行いました。先生も合わせて50名もの生徒が参加してくれました。



5/22(水)には、3年生の研修旅行を実施しました。今年度より3



年生は進路等の関係で研修旅行を5月に実施となりました。岐阜方面に向かい、苗木場や化石博物館等の見学を行いました。事前に3年生のメンバーで旅のしおりを作成し思い出に残る旅行となりました。



6/19(水)は、2年生の職場見学を行い、「与古美」さんの屋号で運営されているリンゴ農家さんへ行きました。



密植栽培をし、樹の成長を抑える最新の栽培方法を学びました。経営者の方の赤裸々な人生の話も聞け、自分たちの進路を考える機会となりました。帰りにはリンゴジュースもいただき、良い経験となりました。

7/4(水)には進路ガイダンスを行いました。「人と比べない人生、未来は明るい」をテーマに講師の方にお話をいただき、自分の人生は自分で決める事の重要性や、社会人になれば、コミュニケーション能力(聞く力)、協調力、積極力の3つの力が重要であると学びました。

7/17(水)には、球技大会を実施しました。今年度初めて生徒会が企画をしてくれ、バスケット、フットサル、ソフトバレー、卓球、バドミントン、それぞれ出たい種目に出て、得点もつけないという新しい形での開催となりました。初めての開催となりましたが、たくさんの生徒が参加してくれ、楽しい1日となりました。



7/15(祝・月)は、2年生の保護者会を行い、お互いの子どもの様子を共有したり、学校での様子を伝え合いました。それぞれの家庭のお話を聞く中で、本学校の取り組みは大変重要な役割がある事を再確認し、保護者のみなさまと力を合わせて子どもたちの成長を見守ったり、背中を押したり考えていきたいと思いました。

今年度が始まって早8ヶ月が経とうとしていますが、生徒1人1人がそれぞれ学習や活動に励み高校生活を送っています。本年度の後半も、1日1日を大切に学校活動を取り組みたいと思います。



若者の居場所 おるら

はみんぐでは、社会との繋がりにくさを感じる若者が、安心して過ごせる場所を毎週1回開いています。ここには、悩みや不安などもわかってもらえる仲間やスタッフがあります。対象は、おおむね義務教育終了後10歳以降の若者ですが、現在は10代から60代までの幅広い年齢のみなさんが利用しています。

開催日時 毎週火曜日 13:30~17:30

場所 産業と若者が息づく拠点施設アルラ(allla) 1階

※毎月第2火曜日10:00~12:00に親の会も開催しています。）

伊那市駅より徒歩5分

参加費無料 Wi-Fiあり 駐車場あり



居場所おるらは、24年度から、若者支援のための、長野県南信こども若者サポートネット事業事務局の、認定NPO法人フリーキッズビレッジと共催での開催運営となりました。

現在は、1回平均6~8人の利用があり、4月~9月までで、のべ179人の利用がありました。

お茶をしながら、スタッフと気楽におしゃべりをしたり、ボードゲームやサイコロトークを楽しんだり、好きなイラストを描いたり、卓球をしたり、思い思いに過ごしています。

おるらは、相談にはもちろん乗りますが、無理に社会復帰や就労に繋げる場所ではありません。

あなたのありのまま、安心して過ごせる居場所です。

通常のスタッフは2名ですが、毎月第1火曜日には、当事者でもあり、気持ちをよくわかってくれるピアサポートスタッフも来所します。

どうぞお気軽にお問い合わせ下さい。

※24年10月から、会場が変更になりました。



10月から卓球もできます



楽しくおしゃべりしたり



好きなイラストを描いて過ごしたり



たまには街散歩も

【はみんぐ専属講師派遣】

若者の居場所おるらピアサポートスタッフが、当事者の視点やこれまでの支援活動から講演します。

講師派遣を希望される方は、はみんぐ事務所にお問合せください。(0265-76-7627)

〔講師プロフィール〕

飯田市生まれ。高校時代に不登校を経験。2007年、社会人の時職場の人間関係のトラブルから精神疾患を発症。休職、ひきこもりを経て、2012年退職。

2013年4月より「上伊那圏域障がい者総合支援センターきらりあ」にて、3年間ピアカウンセラーとして勤務。2019年4月より、「NPO法人子ども・若者サポートはみんぐ」で若者の居場所のピアサポートスタッフ2020年4月より、長野県ピアサポートネットワーク役員、WRAP(元気回復行動プラン)ファシリテーター

【R24年度の研修。講演会実績の一部】

上市市塩田中学校、大桑村、飯島町、飯島小学校PTA、松本市、塩尻市、南木曾中学校、大桑村、上伊那教育会、日本福祉大学、明科高校、飯田OIDE長姫高校、チャイルドライン中信、南信教育事務所 他

Information

社会として子ども達が安心して過ごすことができる居場所づくりの必要性を地域全体として感じ、子どもたちが安心して育つことができる地域とは、上映会や講演会を通して、そんなことを一緒に考えていけたらと願っています。研修会や講演会などの情報をお寄せください。

◆来年度、居場所の開設日を増やしたいと準備中です。
3,000円で、1回のスポーツ活動・居場所の1名分のスタッフの謝金が払えます。
学校外の学びの場を皆様のお力で支えてください。
どうぞよろしくお願いいたします。

学校外の多様な学びの場を創り続けたい！

期間：9/26～1/8

クラウドファンディングに挑戦中



目標金額：30万円



長野県みらい基金への寄付金は、寄附金控除等の税制上の優遇措置の対象となります。また、クラウドファンディング手数料は長野県が負担します。

はみんぐでは、学校外の子どもの居場所「オルタ」を運営しています。スポーツ、野外活動、森カフェ（たき火）、調理体験、ものづくり、アートなど多様な体験活動をしています。子どもたちが、安心の中で体験活動にチャレンジして「ありのままの自分が好き」「自分は大丈夫」という気持ちを育ててほしいと願っています。どうぞ、皆さんのご協力をお願いします。



ご寄付は、このQRコードからお願いします。または、直接、いなっせ5Fはみんぐ事務所にお届けください。

NPO法人子ども・若者サポートはみんぐ
TEL:0265-76-7627
E-mail:info@kksc.org



HP →

少子化とこどもの居場所 ～地域で支える子育て～

湯浅 誠氏 講演会



12/20(金) 14:00～15:30

南信地域

会場：伊那合同庁舎 講堂
〒396-0025 長野県伊那市荒井3497

定員：60名

共催：長野県 / 長野県将来世代応援県民会議上伊那地域会議 / 上伊那地域子ども応援プラットフォーム / 後援：社会福祉法人長野県社会福祉協議会 / 一般社団法人長野県労働者福祉協議会

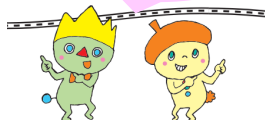
～夜間中学校を知っていますか？～
ドキュメンタリー映画「こんばんは」上映会
日時：12月15日（日）10：00～12：00
会場：いなっせ501
参加協力費：1,000円
*参加ご希望の方は、直接会場にお越しください。

お申し込みは
こちらから！



アッチコッチ
ステーション

HP見てね



上伊那地域で、こども食堂や学習支援などの子どもの居場所づくりに取り組む個人・団体の緩やかなネットワークです。
子どもの居場所づくりを運営する人



NPO法人子ども・若者サポートはみんぐ

〒396-0025 伊那市荒井3500-1 伊那市生涯学習センター5F

TEL/FAX:0265-76-7627

E-mail:info@kksc.org

HP:https://kksc.org/

